

令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果について

令和 5 年 4 月 18 日に 3 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省より公表されました。本校の結果を分析し、今後の改善策等を記します。

【国語科】

本校においては国語力の定着についてはおおむね満足できる結果であった。特に言葉の特徴や使い方に関する事項と我が国の言語文化に関する事項の問いに関する正答が多かった。話すこと・聞くことに関する正答率が低く、話し手の伝えたい内容を正しく捉え、自分の言葉で表現することが課題としてあげられる。今後、辞書の活用や漢字の書き取り等を通して語彙力を高めながら、得た知識を活用し自分の言葉で表現する力を伸ばしていきたい。

【数学科】

本校においては数と式、図形の単元において正答が多い傾向にあった。反対に定着させた知識を活用して関数を解く問題や、データを読み取り、学習した公式を活用して解答する問題に関して課題があると言える。今後、数と式に関してさらに知識を定着させつつ得た知識を活用した演習問題を通して、思考力が高められるようにしていきたい。

【英語科】

本校においては聞くことや読むことに関して正答が多い傾向にあった。反対に書くことに関して考えていることを正しく表記することを不得手としている生徒が多く目立ち、課題であると考えられる。今後、見たり聞いたりした英語をあいまいに活用するのではなく、単語を正しいつづりで書いたり、相手に伝わる正しい語順で文章を書いたりするなど、細かな点にこだわり表現する力を伸ばしていきたい。